



ROTARY INTERNATIONAL

1996年 5 月20日

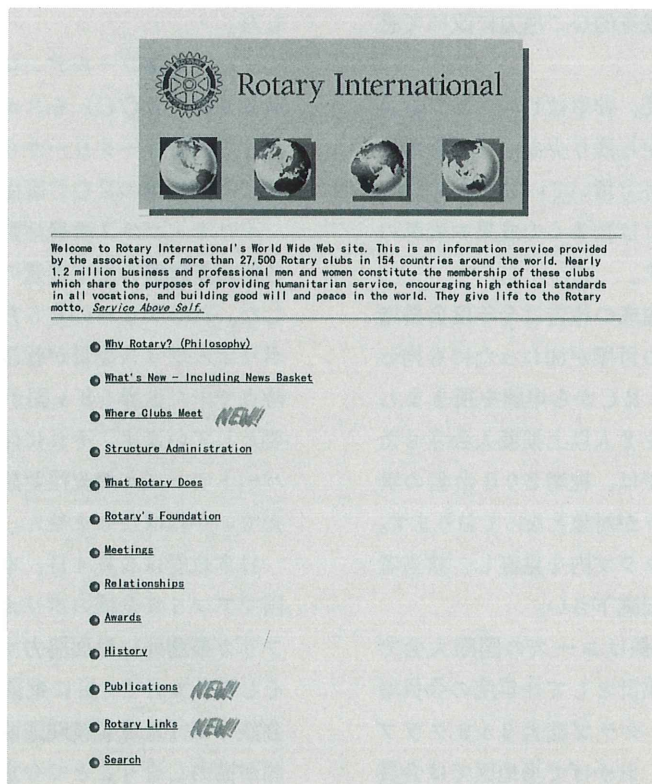
No. 12

Governor's Monthly Letter



クラブ会長・幹事殿控

『国際大会開催』— 6 月



R.I.インターネットホームページ アクセス番号 <http://www.rotary.org>

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 石川和昌 / DISTRICT2760 Governor Kazumasa ISHIKAWA

〒440 豊橋市花田町石塚42-1 豊橋商工会議所内 PHONE (0532)53-0666 FAX (0532)53-0667

会長賞プログラム達成50クラブ ポリオ・プラスに善意続々

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 石川 和昌

松本ガバナー年度に向けての地区協議会も無事終了し、国際ロータリー ルイス・ビセンテ・ジアイ次年度会長の“築け未来を 行動力と先見の眼で”のテーマのもと、各クラブでは次年度役員を中心に着々と準備を進められておられることと存じます。地区協議会のホスト小牧ロータリークラブの献身的なご尽力に改めて感謝申し上げます。

一方、今年度の会長、幹事はじめクラブ役員の方々はホッとしながら残り少ない任期を奉仕活動の総仕上げにご努力頂いていると思います。その証左に私の手元には数多くの成果や表彰の申請が届いております。

会長賞プログラム達成の報告は今年度会員増強とポリオ・プラスの目標が加わったにも拘わらず、実に地区内50RCから申請を頂きました。また、新入会員を2人以上推薦入会させたロータリアンの表彰では、純増200余名の実績により数多くの方々が対象となっております。幹事さんはもう1度クラブ内を見直し、該当者に漏れないようご配慮下さい。

ブラウンR.I. 会長はニースの国際大会で我々ガバナーの報告集計として今年度の会員増強目標85,000名、クラブ拡大949クラブと発表されましたが、おかげで当地区では会員

数6,230名、3月末現在218名純増（内女性会員11名増の34名）、クラブ拡大2クラブとそれぞれ目標をクリアする事が出来ました。

更に、次年度新クラブ結成を目指し、名古屋和合ロータリークラブが準備を進めており、同クラブ相羽鋳一会員に特別代表をご委嘱致しました。

また、豊橋ゴールデンロータリークラブが地域共同隊（RCC）をスポンサーし、4月1日付けで国際ロータリーから認証状が届きました。地区内3番目のRCC誕生です。

ポリオ・プラス根絶活動募金はロータリアン各位のご理解の中で善意の協力を寄せて頂きました。ロータリーの友5月号で中島治一郎国際ポリオ・プラス委員が報告されています様に現時点で未だ世界58ヶ国がワクチンの投与を必要としています。それに伴うポリオ・プラス・パートナーズへの支援要請に我々は引き続き応えていかねばなりません。

日本政府は5月4日、本年6月から3ヶ年計画でアフリカ全域のポリオ絶滅の為、WHOアフリカ事務局に全面協力すると発表しました。そして、4月14日に東京で行われた日米首脳会談では「地球規模問題協力」の一環として両国が協力し合うことで合意したと言うニュース

も、我々を勇気づけて呉れました。

本年度、ブラウンR.I.会長は世界の平和に
思いを馳せ、世界平和への道はまず家庭の平和
からと説かれました。世界平和への願いはロー
タリーの究極の目標であります。

折しも、今年は宮沢賢治生誕百年にあたり、
その作品が脚光を浴び、改めて評価されていま
す。賢治は著書「農民芸術概論綱領」の中で
“世界ぜんたい幸福にならないうちは個人の幸

福はあり得ない”と書いており、彼の思想の特
徴づける言葉とされています。ロータリーと賢
治との接点はないにしても、ほぼ同時代に生ま
れ育った両者の中にある世界平和への思いは、
世界共通の願いであることに変わりありません。

ロータリアン1人1人が積み重ねて来たささ
やかな努力が世界の平和に通じるとすると、奉
仕への道程を歩み続ける更なる勇気と希望が沸
いてくるのであります。

真心の行動、慈愛の奉仕、平和に挺身に対する会長賞

【受賞50クラブ】

尾 張 第 一 分 区 (3RC)

半 田 南 ・ 東 知 多 ・ 常 滑

名古屋第一分区 (11RC)

名 古 屋 ・ 名 古 屋 南 ・ 名 古 屋 港 ・ 名 古 屋 瑞 穂
名 古 屋 中 ・ 名 古 屋 西 ・ 名 古 屋 大 須 ・ 名 古 屋 名 南
名 古 屋 名 駅 ・ 名 古 屋 東 南 ・ 名 古 屋 栄

名古屋第二分区 (7RC)

名 古 屋 東 ・ 名 古 屋 北 ・ 名 古 屋 名 北 ・ 名 古 屋 名 東
名 古 屋 守 山 ・ 名 古 屋 昭 和 ・ 名 古 屋 和 合

東 尾 張 分 区 (4RC)

犬 山 ・ 江 南 ・ 瀬 戸 ・ 瀬 戸 北

西 尾 張 分 区 (6RC)

あ ま ・ 尾 西 ・ 一 宮 ・ 一 宮 北
津 島 ・ 一 宮 中 央

東 三 河 分 区 (10RC)

渥 美 ・ 蒲 郡 ・ 新 城 ・ 田 原
豊 橋 ・ 豊 橋 北 ・ 豊 橋 南 ・ 豊 川
豊橋ゴールドデン ・ 田原パシフィック

西三河第一分区 (6RC)

岡 崎 ・ 岡 崎 東 ・ 岡 崎 城 南 ・ 岡 崎 南
豊 田 東 ・ 豊 田 三 好

西三河第二分区 (3RC)

安 城 ・ 碧 南 ・ 一 色

1995 - 96 年度 真心、慈愛、平和のための会長賞

ROTARY INTERNATIONAL



One Rotary Center
1560 Shennan Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA

Herbert G. Brown
President, 1995-96

1996年4月

国際ロータリー第2760地区
ガバナー 石川和昌様

拝啓

貴地区内の過半数以上のクラブが、1995-96年度、真心、慈愛、平和のための会長賞を取得するように督励下された、あなたのリーダーシップをたたえ、特別会長賞の賞状をお送りする機会に浴しましたことを喜び、光栄の至りに存じます。

素晴らしいご指導力は、ロータリー全体に恩恵をもたらせております。そのご指導力によって、あなたはロータリー運動の充実、強化に貢献され、各地域社会におけるニーズに対処することにおいて有意義な役割を果たされたのであります。

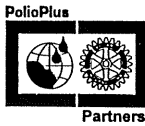
私は、あなたを、1995-96年度にガバナーをおつとめ下された方々の中でも、卓越したガバナーの一人として認証できますことを誇りとし、深く敬意を表します。

敬 具

ハーバート G. ブラウン
国際ロータリー会長



* * * ポリオ・プラスお礼状 * * *



ROTARY INTERNATIONAL
PolioPlus Partners

Bus: (810) 588-1005 Res: (810) 644-4005 Telefax: (810) 585-5518

H. WILLIAM IVES, CHAIRMAN
PolioPlus Partners

1996年4月2日

国際ロータリー第2760地区
ガバナー 石川和昌様

拝啓

ポリオ・プラス・パートナー・プログラムを代表して、貴地区内ロータリアンの皆様の、インドにおける全国免疫接種の日に対する寛大なるご支援に対し厚くお礼申し上げます。ご寄付賜りました一金500,000円也は、インドにて、この不具にする疫病から子供たちを守るために活用されました。貴地区内ロータリアンをはじめ全日本国内ロータリアンの皆様は、1日のうちにインド全土で一斉に8千7百万人の子供たちに免疫接種を付与した歴史的保健事業に大きな役割を果たされたことを正しく誇りにされることが出来ます。皆様の如きロータリアンのご支援とご献身があればこそ、世界中からポリオを根絶させるという偉大な目標が達成できるのであります。

貴殿をはじめ朋友ロータリアンのポリオ撲滅事業およびロータリー活動のすべての面におけるご成功をお祈り申し上げます。そして、皆様がポリオ・プラス・パートナー・プログラムに関心を持ち続け、近い将来にも機会ある度毎に他のプロジェクトを採択してご支援下さることを念じて止みません。重ねて、ポリオ・プラス・パートナーになって下さいましたことに対し、厚くお礼申し上げます。

敬具

H. ウィリアム・アイブス
委員長 ポリオ・プラス・パートナー・プログラム

同文写発送先：インド全国ポリオ・プラス委員会委員長 PDG O. P. Vaish
ポリオ・プラス・パートナー・プログラム
副コーディネーター PDG 平岡正己

1995～'96年度
名古屋第二分区

INTERCITY MEETING

名古屋第二分区代理 浦 野 三 男

◇と き 1996年3月15日(金)

◇ところ 名古屋東急ホテル

◇ホスト 名古屋北ロータリークラブ

【プログラム】

第1部 新入会員研修登録受付

13:00～13:30

新入会員研修 13:30～15:25

テーマ「四大奉仕と青少年活動委員会の現状と展望」

第2部 本会議登録受付

14:30～15:30

点 鐘 15:30

本会議 15:30～17:00

1. 式典

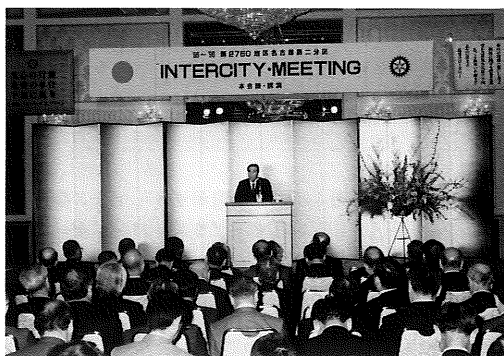
2. 講演「私の野球人生」講師 稲尾和久氏

第3部 懇親会 17:30～19:00

閉 会 19:00

名古屋第二分区のI.M.は名古屋東急ホテルで石川ガバナーをはじめ24名の特別出席者と438名の新旧ロータリアン、新設ロータリークラブの入会候補者17名、名城ローターアクト11名の総計490名の出席を得て、簡素かつ実のある有意義なI.M.を盛大に開催することができました。I.M.の目的は近隣都市間の会員相互の親睦と面識を広めることであり、会員にロータリー情報を伝え、経験豊かなリーダーのもとに、奉仕の理想を勉強する会合で区内会員相互の交流と親睦にも大いに盛り上がった会でした。本日のスケジュールも第1部新入会員勉強のための研修会(131名)、第2部本会議式典と「野球殿堂入り」稲尾和久氏の野球人生の講演会、第3部交流と親睦のためのふれあい懇親会と平日の半日を有意義な楽しいプログラムとしました。尚特別企画として名古屋

第二分区8ロータリークラブ合同提唱の名古屋名城ローターアクトクラブの助成援助のため「ロータリーチャリティー美術展」を併催しました所、区内ロータリアンから絵画、工芸品、写真等73点が出品、展示され大いに感動をうけました。お陰様に作品全部が完売されその収益金を名城RACへ寄贈する予定であります。出品に協力いただきましたロータリアンに厚くお礼申し上げます。今回の第二分区I.M.の特徴はロータリー創設90周年を迎えもう一度ロータリーの原点を見直し奉仕の理想の実現に向けて大いに考えねばならないと簡素の中にも、充実した内容をと新入会員研修には特に力を入れ“四大奉仕と青少年活動の現状と展望”というテーマで区内ベテランロータリアン5人をパネラーに高沢パストガバナーをリーダーに2時間のパネルディスカッションを行いました。第3部ふれあい懇親会も区内ロータリアンが多数一堂に会し活発に交流が行われ、親睦の輪が益々広がったと思います。最後にI.M.を実りある会合にさせていただきました区内ロータリアン各位とホストクラブの皆様に厚く感謝と敬意を申し上げ報告と致します。



本会議

1995～'96年度
西三河第二分区

INTERCITY MEETING

西三河第二分区代理 石川 八郎右衛門

◇と き 1996年3月23日(土)

◇ところ 衣浦グランドホテル

◇ホスト 碧南ロータリークラブ

【プログラム】

登録受付	13:00
式典	13:30～16:40
記念講演	14:20～15:20
フォーラム	15:30～16:20
懇親会	17:00～18:00

講師、フォーラムパネラー、石川和昌ガバナー・松本宏ガバナーノミニーをはじめ多数の登録会員の参加をいただいて、纏まりのよい会場が現出しました。

I.M.フォーラム

記念講演テーマ『心』

混迷・危機の時代。人々は求める「思い遣る説得の輪」を担う者と自負するロータリアンにとって、蝕まれようとする心をどう癒し・どう洗い・どう建て直し整えるかの命題は、先ず内なる自己への切実な問いかけでありましょう。

講演は〈そこで どう生きる〉と題して、時の人である愛知尼僧堂々長・特別尼僧堂々長・無量寺住職・正坊寺住職／青山俊董師より、深い慈悲心に包まれた死生感を伺いました。参加者等しく感動に打たれ生きる歓喜と使命を確かめることができました。

フォーラムテーマ『国際親善について』

財団留学生OBの諸嬢に依りました。山中寛三リーダー司会のもと、留学先での貴重な体験と、社会の第一線で華々しく活躍しながら思うところを重ね合わせて、ロータリーへの感謝と期待とを明るく話されました。将来の夢として、恩返しに留学生への支援を挙げられるなど、

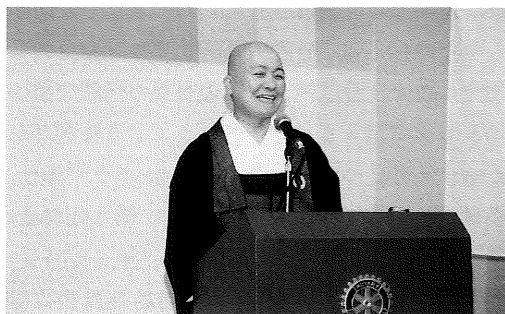
21世紀に向けての国際交流の在り方へ示唆に富んだ楽しいお話で、会場が一挙に和みました。懇親会も、ロータリアン同志が労い・称え・励まし合う機会に相応しく“手に手つないで”の大合唱へと盛り上がりました。

皆様のお蔭と感謝しております。

参加一人一人の心のI.M.でした。



石川ガバナー挨拶



青山俊董師による記念講演「心」



フォーラム「国際親善について」

1995～'96年度
尾張第一分区

INTERCITY MEETING

尾張第一分区代理 市 田 弘 治

◇と き 1996年3月24日(日)

◇ところ INAX 本社ビル

◇ホスト 常滑ロータリークラブ

【プログラム】

登 録 受 付 13:30～14:00

第1部式典 14:00～14:30

第2部 分科会 14:45～15:45

第3部 全体会議 16:00～16:30

第4部 懇親会 16:45～18:00

花の香りがただよう3月24日(日)尾張第一分区のI.M.を、石川ガバナーを始め、多数のご来賓をお迎えして、盛大に開催することができました。心より厚く御礼申し上げます。

I.M.は分区内の会員が、ロータリアンとしての資質の向上を図ると共に、会員相互の親睦を深めながら日頃の諸活動についての情報を交換する場として開催させていただきました。

今年のI.M.は、分区内ロータリアン全員の参加ではなく、分区内クラブ委員長の情報交換の場とさせて頂きました。各クラブより提起された奉仕活動について、第1分科会・クラブ奉仕、会員増強、第2分科会・職業奉仕、第3分科会・社会奉仕、第4分科会・環境保全、第5分科会・国際奉仕、第6分科会・青少年活動委員会に分れ、各クラブの会長さんに、取廻しをお願いし、幹事さんには記録を、各委員長さんには全員が順次発表していただき、全員が片寄ることなく、ロータリー問答を楽しんで頂けるよう円卓とさせて頂きました。この様な分科会の方式は初めての試みで、各委員長さんには戸惑いもあったと思いますが、皆さんの真剣な様子を拝見し安心しました。

第7分科会は、新入会員(入会3年未満)に

「ロータリーの原点」について、アドバイザーより下記のようなお話を頂きました。

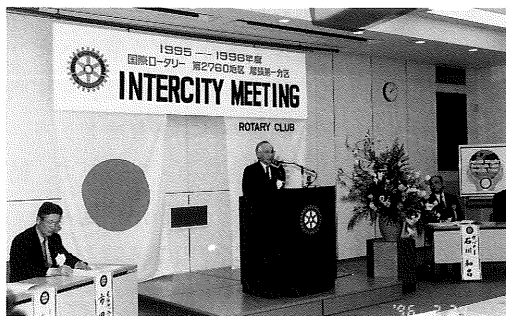
田中パストガバナー「例会は人生の道場であり、ロータリーに出席することである。」

神野地区幹事「例会や、委員会には積極的に参加し、楽しんでいただきたい。」

内田次期地区幹事「例会に出席し、バッヂをつける事は義務ではなく、権利である。」と、その後は、熱心な質疑応答があり、有意義な勉強会となりました。

第4部では、松本ガバナーノミニの乾杯の音頭により楽しい懇親会で、I.M.を盛り上げて頂きました。分区の皆様にご御礼申し上げます。

尚、今回尾張第一分区I.M.の企画にマッチしたすばらしい会場を提供して下さいましたINA Xさんに心より感謝をし、無事終了致しました。



第1部式典



第4部懇親会

1995～'96年度
東三河分区

INTERCITY MEETING

東三河分区代理 平 野 義 郎

◇と き 1996年3月31日(日)

◇ところ 田原文化会館

◇ホスト 田原パシフィックロータリークラブ
【プログラム】

登録受付(新入会員) 10:00～10:30

新入会員勉強会 10:30～11:50

登録受付(一般会員) 12:30～13:00

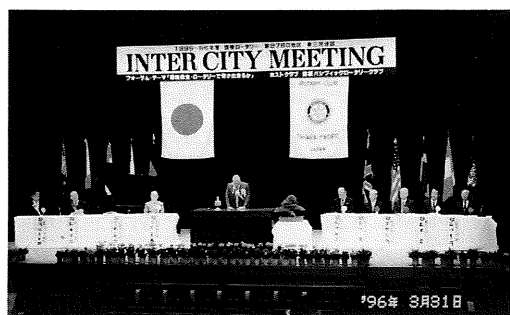
セレモニー 13:00～13:30

パネルディスカッション環境保全 13:45～15:30

懇 親 会 15:30～16:45

昨夜来の雨もあがり、I.M.に相応しい天気となり、遠来のロータリアンの皆様方をお迎えできた事は私達にとって、この上ない喜びでありました。石川和昌ガバナーを始め、高沢隆、宮地信尚両バストガバナーをお迎えし、第一部の新入会員研修会を皮切りとして開会されました。今回のI.M.の実行に当って、田原パシフィックロータリーとしての特色あるI.M.となるべく、全会員の役割分担を決定し、各分担部署よりの発想を内柴実行委員長及び二名の副委員長を頭として、何回ものフォーラムを開き準備が行なわれた訳ですが、何分にも若い会員の多い当クラブですので、手作りの会場作りを行うということでもあり、田原文化会館の会場を設営する

為の準備も大変困難な作業が山盛でした。友愛の広場や懇親会場の担当者の発案で桜の樹を飾る事となり、当日の会場に満開の桜を用意するため、事前に桜の樹を温室内に運び込み加温をしたのですが、開催前に満開となってしまったり、大変苦勞を致しました。第二部式典に続く、第三部のフォーラムのテーマ「環境保全、ロータリーで何が出来るか」でありますし、この桜の樹に関しましても、当クラブ内で次元の高い論議がなされ、春を待てずに取り除かれる桜の樹の最後の花道を……東三河分区のロータリアンの皆様と共に桜の樹との別れを惜しむために決断し設営したものです。フォーラムでアドバイザーの皆様、パネリストの皆様方大変真剣な討議ありがとうございました。中部小学校の子供さん方の歌「地理の詩」の内に環境保全の為の大切な事が、私達の行うべき事が有ると考えて居ります。六年目の未熟な当クラブでありますし、ともすると、マンネリ化する時期かと感ずる間もない時期での重責でありましたが、東三河分区の皆様方より私達クラブ員の結束と新たなる活力を与えて戴きました。本当に有難う御座居ました。東三河分区が今後益々発展されん事をお祈り致します。



フォーラム



中部小学校の子供達による「地理の詩」

R.I.D. 2760に
新クラブ誕生

【名古屋錦RC】創立総会

平成8年4月16日(火)、名古屋ガーデンパレスにおいて石川和昌ガバナーをはじめ地区役員など来賓の皆様、ならびにスポンサークラブの名古屋名北ロータリークラブの皆様方のご出席を得て、創立総会が開催されました。

名古屋名北ロータリークラブが創立15周年を迎えるにあたり、その記念事業の一つとして設立されたもので、国際ロータリー第2760地区では75番目のクラブとなります。

チャーターメンバーは、キーマンメンバー8名を含む53名で、うち女性会員は10名であり、バランスのとれたフレッシュな新クラブです。

しかしながら、ロータリー歴5年以上の会員は五指にも満たない現況であり、一日も早く一人前のロータリークラブに成長するよう努める所存でありますので、今後とも各クラブ様及びロータリアンの皆様には、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

■新クラブ概要

名 称：名古屋錦ロータリークラブ

例会日時：毎週火曜日 12時半～13時半
(毎月最終例会は18時～19時)

例 会 場：名古屋ガーデンパレス

事 務 局：名古屋市中区錦三丁目10番28号
ニシベビル4 F A号

電話 (052) 971-3005

FAX (052) 971-3006

役 員：特別代表 吉村 卯一郎

会 長 梶川 重久

幹 事 中川 偉弘

【特別代表挨拶】 (要旨)

R.I.第2760地区特別代表 吉村 卯一郎

会員の獲得については、この不況下男子会員

の募集だけでは数の確保が難しいと思い、女性会員の入会を積極的にすすめましたが、望外の会員が獲得でき、53名のチャーターメンバーで発足することになりました。

一日も早くロータリーの雰囲気慣れていただくため、名古屋名北ロータリークラブ創立15周年記念式典(3月4日)や、名古屋第二分区I.M.(3月15日)に特別参加してもらい、ロータリーの琴線に触れて勉強をしてもらいました。今後とも宜しくご指導とご鞭撻をお願いいたします。

【ガバナー挨拶】

R.I.第2760地区ガバナー 石川 和昌

ブラウンR.I.会長の方針―会員増強・クラブ拡大については、皆様方のご協力により、今日現在、地区で既に218名の純増、また、クラブの拡大についても、豊橋東クラブと名古屋錦クラブの2クラブが誕生するという、ガバナーとしては大変恵まれた状況となりました。

特に錦クラブは、女性の方が10名お入りになられたのは大変画期的なことです。世界的にも、アメリカの場合、女性ガバナーが多く誕生しているといった状況で、ロータリーもこれから男女格差の無い新しい局面が展開され、それに基づいてより一層奉仕の道が開かれてくるものと期待をしています。

ロータリーにはいろいろ制約、規則等があり、難解なロータリー用語など馴染みにくい面もあるかと思いますが、一日も早くロータリーに同化されることを願っています。

それには、やはりロータリーの会合に積極的に出席し、会員皆さんが親睦を深めていただくことが大切であり、その上でいろいろな奉仕をしていただくことを期待いたします。

1996-'97年度のための 会長エレクト研修セミナー

次期地区副幹事 山 田 進

新しい年度を予感させる、1996-'97年度R.I.テーマ「築け未来を行動力と先見の眼で」の実践をめざして。次年度のための会長エレクト研修セミナーが開催されました。

1996年3月19日、会場となった半田市福祉文化会館に、晴々と、そして気力一杯の参加者の方々。「私も過去の人となりつつあります。」とユーモアの中にも、大きな改革と業績をなし遂げられた力強い石川ガバナーの「会員増強・ポリオ撲滅確認のための支援資金の協力」を中心としたスピーチの後、「私が、R.I.テーマの実践をめざして地区のリーダーシップを！」と熱っぽく語りかけるガバナーノミニエがありました。

ガバナーノミニエの語りかける本セミナーのテーマは、R.I.1996-'97年度のテーマのうち特に「次の世代を準備するために後継者の新世代を対象とした活動を、そしてロータリーを次の世代へ手渡そう」等強調されました。昼食は半田RCメンバー老舗望洲楼の弁当にご満足いただけた様子。

午後は、次期地区予算報告、クラブ計画の作成等実務的なスケジュールが続き、「一番偉いのは会長さん、あなたです。そして会長さんの熱意が会員の牽引力となるのです。」と、次期地区研修リーダー田中P Gがガバナー時代の経験談を交えた見事なアドバイス。

締めくくりは、石川ガバナーよりポールハリスを含めた一般寄付、ベネファクター等の恒久資金に対する認識の理解を訴えられ、研修は無事終了いたしました。

ご参加いただきました皆様方には、心よりお礼申し上げますとともに、稔りあるロータリー年度の実現のためのご活躍をお祈りいたします。



ロータリー文庫通信 (第104号)

例会卓話向けビデオ

その2

◎「活動するロータリー：災害救援活動」

R.I. 1994年 15分

◎「ク：保健と治療」 R.I. 1994年 15分

◎「ク：ボランティア」 R.I. 1994年 16分

◎「ク：飢餓と栄養」 R.I. 1994年 12分

◎「ロータリー財団：ロータリーの国際的ビジョン」

R.I. 1993年 15分

◎「飛び立つ用意が完了」 R.I. 1993年 12分

◎「J S Vの奉仕と生がい」

東京城東R.C. 1991年 16分

◎「世界社会奉仕 善意・信頼そして感動」

D.2770 1995年 20分

◎「雲仙・普賢岳災害救援に対するビデオでの御報告」 D.2740 1992年 19分

◎「憶えていてください～ロータリー・災害の救援」 D.2510情報資料室 1994年 28分

ロータリー文庫

〒105 東京都港区芝公園 2-6-3 abc会館 7 階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

1995～'96年度 第2回地区国際奉仕委員長会議

日時／平成8年3月28日(木)

会場／名古屋 都ホテル

本年度の国際ロータリー第2760地区第2回国際奉仕委員長会議が、平成8年3月28日14時から16時までの2時間にわたり開催されました。出席者は石川ガバナー、松本ガバナーノミニー外23名の特別出席者と地区内74クラブの国際奉仕委員長71名のご参加を得て開始されました。

(会議の内容)

司会 地区国際奉仕委員会
副委員長 松原 忠久

(1) 開会の挨拶〈要旨〉

地区国際奉仕委員会
委員長 吉村 卯一郎



今回は第1回の会議とは異り、皆様方には国際奉仕に対する認識を深められておられることと思いますが、各地区委員会においても企画、実践に全力を挙げてかなりの成果を収め得たと自負しております。

青少年交換委員会では、派遣先の国の事情によって、受入体制に多少の変化が見られ、特にオーストラリアでは受入人員減少傾向にあって我々を戸惑わせております。しかし反面受入れを希望する国も増えてきておりますが、新規の国へは当地区からの派遣学生の希望者が本年度はありませんでした。

次に世界社会奉仕委員会(W. C. S.)では

本年度も奨学金などのドネーションを行うため、フィリピンへは2月9日～12日の4日間、タイへは2月10日～14日の5日間、それぞれ希望者によって訪問いたしました。

私は昨年度のフィリピンに続いて、本年度はタイへ行きましたが、首都バンコクはさすがに躍進国家のキャピタル・シティであり、高層ビルが林立する中に更にまた新しいビルが建設中であり、また交通も交通地獄という言葉が当てはまると思われるほどの渋滞が目立ち、その経済成長振りには目を見はらさせるものがありました。しかしその反面、農村地帯の生活水準の低さや、学校の教育施設の低水準が伺われてアンバランスが目立っておりました。

(2) ガバナー挨拶〈要旨〉

国際ロータリー第2760地区
ガバナー 石川 和昌



本年度もあと3ヶ月に迫り、各クラブ委員会では本年度の事業を殆んど完了しておられることと思います。

今年度、ブラウン会長は各クラブへ会長賞へのチャレンジを要請されました。今回の会長賞の場合は、四大奉仕のほかに会員増強の問題と国際奉仕にも若干関連がありますポリオプラスの問題が入っており、それぞれの部門ですべてをクリアすることが望まれました。国際奉仕の

中でも、11項目の中の2～3項目をクリアしてほしいということを要請されています。ひとつ最後の仕上げをよろしくお願い申し上げたいと思います。

今年は青少年交換、国際友好とも地区として目標を立て、それを立派に遂行しつつありますことを心からお礼を申し上げます。

国際的な事業、国際奉仕活動はかつては要するに“ I serve”を中心としていましたが、やはり“ We serve”も必要であるとされるようになってきた中、国際奉仕活動一特に世界社会奉仕(W. C. S.)などはそういう問題を多く含んでいますから、その辺のご理解をいただき、次年度にも充分引き継いでいただきたいと思います。

ブラウン会長は3つのテーマの一つとして“ 平和に挺身”を挙げてみえますが、これは国際間の友好、また世界平和に大きくかかわるテーマであり、その中におけるW. C. S. の果す役割、あるいは将来を担う青少年の交換ということは、大変大きな比重を占めるわけですから、その点につきましても国際友好を含めて今後より一層のご理解とご支援をお願い申し上げたいと思います。

なお国際大会として来る6月22日からのカルガリー大会の外に、本年はアジア地域大会が10月にバンコクで開催されますが、この大会へのご参加も是非お願いしたいと思います。タイは特に私どものW. C. S. 活動の相手国であり、これから更なる大きな比重を占める場所であろうかと思しますので、こういう機会に是非ご参加をいただくようにクラブでご勧奨いただきたいと思います。

(3) 青少年交換の活動状況報告

地区青少年交換(小)委員会

委員長 林 光 雄

今年度の青少年交換の状況は、派遣14名、受入れ11名で対象国はアメリカ、カナダ、オーストラリアです。

受け入れに対しては、昨年に引き続き、受け入れ各クラブの国際奉仕委員長、ホストファミリーの方、引き受け学校の先生方にご出席いただき、ロータリーとしては石川ガバナー、吉村国際奉仕委員長をはじめ地区青少年交換委員会全員が出席して、いろいろご意見をお聞きしました。その中で、ホスト・ファミリーのおかあさま方が如何に大変かということを痛感しました。

青少年交換の原則は、お客様としてではなく家庭の一員としてお預りすることであり、これは日本ばかりではなく、派遣する相手国でも同じようなルールに基いてお世話をしていただいているわけです。

今年度非常にいい傾向になってきたと思いますことは、各クラブの国際奉仕委員長さんが、青少年交換について深いご理解をいただいて、受入学生をクラブに招いていただき、スピーチをする機会を与えていただいたり、催しの機会があるごとに受入学生を積極的にお招きいただいていることで、こうしたことは、学生たちにとって日本における楽しい思い出となるのではないかと思います。

青少年交換委員会の仕事はエンドレスで切れ目がありませんので、次期委員長さんには事前に青少年交換についての予備知識をお持ちいただけるよう、引継ぎをよろしくお願いいたします。

(4) 世界社会奉仕(W. C. S.)の活動状況

並びに地区主催のW. C. S. フィリピン及びタイ視察旅行の報告

地区世界社会奉仕(小)委員会

委員長 牧 眞

今年も例年通り2月にタイ・フィリピンへ二班に分れて訪問し、合計金額で1500万2000円のドネーションを行ってきました。

これにより地区のプロジェクトとして始めてから今年で9～10年目になりますが、その累計としては1億3900万円を越えることにな

りました。

私は、本年はフィリピンへ行きました。フィリピンはマニラ近郊の第3800、第3810の2地区ですが、両地区は一部の地域で2階建となっており、殆んど親戚付き合いをしているような地区であり、両地区のW. C. S. 委員長間の情報連絡も密であるため、ドネーションも公平にする必要があります。

フィリピンでは、昨年ドネーションの金額に関して若干トラブルがありましたので、今年はその是正としてガバナーのご配慮で特別資金を持参しましたが、話し合いの結果、先方には理解していただき、その特別資金は渡さずに持ち帰りました。

私は本年度で任期を終えますが、これまでの4年間の経験では、W. C. S. 活動は先方の委員長と意思の疎通ができないと、なかなか難しいということを感じました。

タイにしてもフィリピンにしても、飢餓貧困はまだまだであると思いますが、正直言って終りが無いのではないかと思います。私見ですが、これからのW. C. S. 活動はできることなら奨学金など教育関係にかかわるのが意義があるのではないかと考えております。

【タイ視察旅行について】

地区世界社会奉仕(小)委員会
副委員長 内 田 栄 一

タイへは2月10日から14日にかけて吉村国際奉仕委員長をはじめ21名の方が参加して行ってきました。

タイでは元ガバナーで今も地区W. C. S. 委員長として活躍のドクター・スミン氏の尽力で、ドネーションもスムーズに行われました。

過去3年間を通じて感じましたことは、牧さんと同じことで、貧困に対しての援助は本当に切りがないということでした。しかし継続することこそが友好であり、今日まで9～10年と続けてきたことによりお互に信頼感も出てきたわけです。

タイは経済が非常に目覚ましい発展をしており、街中ではもう飢餓貧困を感じさせることはありませんが、一步地方へ行きますと、フィリピンとはあまり変わらないような状況が現実にあるわけです。特に山岳民族の教育などには大変苦勞をしているようで、現地のロータリアンもこれからはこうした教育に力を入れたいと言っております。

本年度は22クラブのいろいろなプロジェクトに196万5000円のドネーションを行いました。その他に奨学基金として第3360地区へ200万円を寄贈し、これで累計800万円となりました。先方も同額の基金を積立てていますので、現在奨学基金は1600万円となっております。あと1回の寄贈で奨学資金はとりあえず終了することになっております。

(5) 国際友好の状況報告

地区国際友好(小)委員会
委員長 中 野 博 三

お手許に昨年度お願いしましたアンケート調査の結果をまとめた資料を配布しました。当小委員会に対するご要望が3点ほどありますが、すべてのを得たご意見なので、何らかの考慮が必要であらうと思っております。

(6) 各クラブの1995～'96年度国際奉仕活動の実施状況報告

(7) 質疑応答

(8) 講 評

国際ロータリー第2760地区
ガバナー・ミニー 松 本 宏

当地区の国際奉仕活動は、石川ガバナーのご指導、吉村国際奉仕委員長をはじめ各委員長の適確なリーダーシップにより立派な成果を挙げておられますことに敬意を表する次第です。本日は、その活動状況がそれぞれ発表され、地区、クラブとしての活動がそれぞれ成果を挙げておられる、そのご苦勞に感謝を申し上げます。

国際奉仕活動がどうあるべきかということについては、私自身、過日アナハイムでの国際協

議会に出席し、グループ・セッションでこの問題について相当時間をかけていろいろ研修討議が行われました。その時各地区のガバナー・ミニよりそれぞれの地区の活動内容が発表され、それについてディスカッションをしましたが、各地区それぞれの特徴があり、なかなか難しい問題であるということを痛感しました。

国際奉仕活動は、最も有効と思われる地区・クラブを対象にして援助活動を行うことが必要である、ということは今更申し上げるまでもありません。ただアナハイムでも問題になったわけですが、新規の開拓については相当慎重を要するということであり、限られた予算をいかに有効に使用するかという点で、事前によく調査

をして行動に移られることを希望するわけです。

ジアイ R.I. 会長エレクトは、新世代に対して非常に力を入れてみえまして、新年度の R.I. テーマも新世代をターゲットにした活動を強く求めています。この青少年問題については、国際奉仕委員会も大変関係していますので、新年度においても青少年問題については格別のご高配をお願いする次第です。

(9) ホストクラブ会長挨拶

名古屋名北ロータリークラブ
会 長 横 井 登

(10) 閉会の挨拶

地区国際奉仕委員会
副委員長 松 原 忠 久

〈豊橋東ロータリークラブ認証状伝達式〉

1996年、年初より仮クラブとしてスタートした豊橋東ロータリークラブは、4月8日、国際ロータリー加盟認証状伝達式を終えることができました。豊橋市長高橋アキラ様、R.I. 第2760地区ガバナー石川和昌様をはじめ、パストガバナーの皆様や多くのご来賓の皆様の御臨席を賜り、晴れてこの日を迎えることができましたこと、厚く御礼申し上げます。

豊橋東ロータリークラブは、そもそも石川ガバナーの拡大の御指示に基づき、スポンサークラブであります豊橋南ロータリークラブ創立30周年記念事業としてスタートし、このような短期間のうちに、チャーターナイトを迎え、クラブ拡大できましたこと、豊橋南ロータリークラブ会員の皆様方に、心より御礼申し上げます。

豊橋東ロータリークラブは、R.I. 第2760地区として、74番目、豊橋市内では5番目のクラブとなり、当地区ロータリアンの皆様に築

豊橋東RC特別代表 中 村 英 彦

いていただいた輝かしい歴史の流れの中に、この新生クラブを合流させていただくことを、ガバナーより委託を受けた者として心より感謝申し上げます。

新クラブは創立の精神として、「青少年を対象として、教育・スポーツ活動を通して国際交流をはかり、世界平和に貢献する。」を重点目標として掲げました。最後に豊橋東ロータリークラブ特別代表の立場から各ロータリアンの皆様に、先輩としては是非御指導賜りますよう心よりお願い申し上げ、新クラブ設立の紹介とさせていただきます。



第2760地区ニュース・その他

カルガリーへ持参しよう！ 「ロータリーの友」英語版

ロータリーの友委員長 板橋 敏雄

1. 掲載記事内容

「ロータリーの友」誌より海外向けにふさわしい記事を編集転載。また、日本の地区別ロータリーと全クラブの例会日一覧表、その他日本の文化、社会、経済および一般事情の紹介記事を掲載。

2. 活用方法

(イ) 特に冬号（グリーティングカード付き）の場合、クリスマスカード代わりに、海外のロータリアン、友人、知人または海外の取引先に贈呈。

(ロ) 海外の姉妹クラブ、友好クラブに定期的に送付。

(ハ) 国際大会参加、その他海外旅行の際おみやげとして携行。

(ニ) 海外でメークアップのとき、また例会で海外ビジターに贈呈。

(ホ) R財団国際親善奨学生、青少年交換学生、GSEメンバー（それぞれ派遣、受け入れ）、米山奨学生、本人およびそのホスト、カウンセラーに贈呈。

(ヘ) 地域や大学、高校の図書館に寄贈。

(ト) R.I. 発行の公式名簿(Official Directory)を利用して、外国のRC会長に贈呈（一例：同じ頭文字のクラブに贈る）。

3. 創刊 1975年5月

4. 刊行回数

年度2回

(11月1日－冬号と4月1日－春号)

*1996-’97年度

第45号誌（1996年11月1日発行）－冬号

第46号誌（1997年4月1日発行）－春号

5. 発行部数 冬号－11,000部

春号－12,000部

6. 1部単価 500円

(消費税別、国内送料込み)

7. ご注文方法

例年7月初旬に各クラブ幹事様あてにご案内状とご注文用はがきを郵送いたしております。

また、普通はがきもしくはお電話、FAXでいつでもお受けいたしております。

書籍寄贈のお願い

第2720地区 西天草ロータリークラブ

会長 岩下 通一

早春の候、貴殿におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。早速ですが、当クラブ会長の永野義孝君（元会長、現国際奉仕委員長）は、いま私立図書館を建設中であります。この図書館は、障害者と健常者のふれあいの場を目的とするものでありますが、その中の一部に『ロータリー・コーナー』を設置するよう計画されております。ロータリー60年史、2720地区史を始め、各クラブの記念誌、大会記録誌等を蔵書として備えようと計画されておりますので、もしそのような書籍を寄贈頂ければ、貴地区内各クラブに伝達をお願いしたいものです。

なお、一般図書のご寄贈も募っていますので貴殿より呼び掛けて頂ければ幸いです。

送り先 〒863-25

熊本県天草郡苓北町志岐1059番地

はまゆう療育園内

西天草ロータリークラブ事務局

川田 博 宛

(書籍の送料については着払いで結構です)

第2760地区ニュース・その他

豊橋南ロータリークラブ「創立30周年記念例会」

豊橋南ロータリークラブは、平成8年4月8日午後4時から、石川ガバナー夫妻、高橋アキラ豊橋市長、佐藤元彦商工会議所副会頭の臨席のもと、地区パストガバナー6名、ガバナーノミニー、神野地区幹事はじめ地区のキャビネット、分区代理と元分区代理3名、姉妹クラブの台北城北RCの訪問者3名、分区内各RCの会長・幹事、カウンセリングをした米山奨学生6名外を招待して、創立30周年記念例会を豊橋グランドホテルで催した。

【小野喬四朗会長挨拶】

多くのご来賓の皆様のご臨席を賜わり、誠に有り難く、厚く御礼申し上げます。

顧みますと、当クラブは1966年4月4日福井道二初代会長のもと、チャーターメンバー22名により創立され、希望に燃えたその歩みを始めて以来今日に至るまで、歴代会長、役員、

会員の皆様の弛まぬ努力と強固な団結のもと、ロータリーの奉仕活動を推進してまいりました。10周年目には、フィリピンサンファンRCと姉妹クラブの交流が始まり、1980年姉妹提携しました。途中、マルコス政権の崩壊という事件がありましたが、姉妹クラブの関係は連綿と今日まで続いています。20周年目には台北、城北クラブと姉妹締結をし、毎年数多くの会員の交流が続いています。

又、1980年豊橋ボーイスカウト30周年を機に、韓国晋州市との国際交流が始まり、数多くの青少年の日韓交流の橋渡しが出来、多くの友人を得ることが出来ました。青少年健全育成のためのプログラムとして、青少年柔道大会、青少年サッカー大会を永年に渡りサポートしています。

今年は又30周年に記念事業として全会員協力の下、豊橋東ロータリークラブの設立をスポンサーしました。偉大な先輩方をはじめ、会員全員で築いて参りました尊い歴史を重んじ、今後も力強い奉仕の精神と行動力と共に前進を続けて参る所存です。



小野喬四朗会長挨拶



石川ガバナー挨拶

第2760地区ニュース・その他

名古屋港ロータリークラブ 創立30周年記念式典

名古屋港R C会長 杉 浦 弘

当クラブ創立30周年記念式典は、ロータリーにご理解の深い三笠宮寛仁親王殿下をお迎えし御講演を頂くという、歴史に残る記念大会とする事が出来ました。

また本年は、当クラブが誕生させた名古屋港ローターアクトクラブが創立20周年になる事から、当日共々お祝いを致しました。

式典は4月13日、ホテルナゴヤキャッスルに於て、鈴木愛知県知事、登内名古屋市助役、石川ガバナー等々行政、ロータリー関係多数の御来賓をお迎えし、15時30分、盛会かつ緊張のうちに開催されました。



式典会場

名古屋港管理組合、ロータリー財団、米山記念奨学会に夫々目録贈呈を行いました。うち名古屋港管理組合に対してのものは米国製ベンチ20脚であり、このあと水族館前と南極観測船「ふじ」の前に設置されました。

名古屋港に座る所がなくて困って居られる事を耳にしたのが、きっかけでした。

式典のハイライトは寛仁親王殿下による「我が国の福祉」と題する約1時間の講演。

真の福祉とは、同情でなく思いやり、等のお

話は一同に深い感銘を与え、今後のロータリーの奉仕活動に役立てたいと、心に誓いました。

更に、殿下からは当日の参加者全員に、ご署名入りの著書「いのちの時間」を賜わり、何よりの記念の品となりました。



三笠宮寛仁親王殿下の御講演

祝宴は一転、リラックスしたムードの中で開始されました。

窓ごしのお城と夜桜、そしてピアノ五重奏曲の妙なる音楽をバックに、ホテル自慢のフランス料理を楽しみ、ロータリーソング「手に手つないで」を最後に19時30分、感銘深い記憶に残る記念大会を無事終了しました。

名古屋港ローターアクトクラブ 創立20周年記念式典

名古屋港RAC会長 山 田 健 一

名古屋港ローターアクトクラブ創立20周年記念式典が、4月13日(土)、三笠宮寛仁親王、鈴木愛知県知事、登内名古屋市助役、石川ガバナーの方々をお迎えして、名古屋キャッスルホテルに於いて、名古屋港ロータリークラブ30周年記念式典と併せて行なわれました。

式典に引き続き、三笠宮寛仁親王による記念講演が行なわれました。身体障害者との接し方

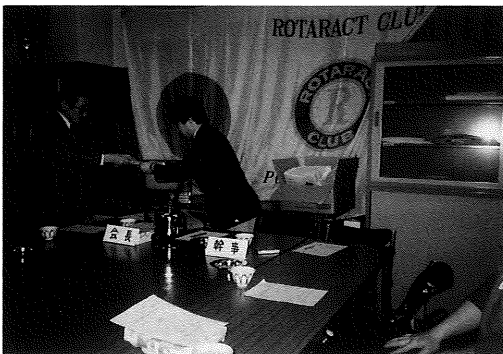
第2760地区ニュース・その他

など具体的に「我が国の福祉」について講演され、またその際ローターアクトについて助言を頂き、今後の奉仕活動について考えさせられました。

また20周年記念事業として、地元地域社会に根ざした奉仕活動を目的とし、障害福祉施設の名古屋市昭和橋作業所の授産生、職員そして保護者の方々を映画鑑賞に招待することになっており、3月27日（水）第2例会において目録贈呈を行っております。

名古屋市昭和橋作業所とはクラブ創立以来20年間交流させて頂いており、今回は「授産生が外に出かける機会がほしい。」との申し出があり、これに答えたものである。会長山田健一から贈呈目録を受け取った鈴木栄児所長は「大変感謝している。これを機に、さらに交流が深まることを期待している。」と感謝の言葉を頂いております。

名古屋港ローターアクトクラブが、20年の歳月を無事に迎えられたのも、提唱クラブであります名古屋港ロータリークラブをはじめ協力クラブであります名古屋西ロータリークラブのロータリアンの皆様、また地区内外のローターアクターそしてOB、OGの皆様の温かいご支援の賜物とこの紙上を借りて深く感謝申し上げます。



20周年記念事業目録贈呈式

名古屋名駅ロータリークラブ 「創立5周年記念を迎えて」

名古屋名駅RC会長 加藤 清

名古屋名駅ロータリークラブでは4月17日に創立5周年を記念し、名鉄ニューグランドホテルでスポンサークラブの名古屋西ロータリークラブ全員をお招きして合同例会を開催しました。まだ5周年ということで「内輪で簡素に」を旨とし、記念行事としては当クラブ独自の社会貢献への表彰制度である「椿賞」を、ことはTMC（トップマネジメントに学ぶ会）に授与、つづいて5年間100%出席者20名を表彰しました。

当日は薦田国雄特別代表から「最初66名からスタートしたクラブが5年目にして100名を越える素晴らしい発展ぶり」とあいさつがあり、更なる活躍をと激励されました。私ども会員一同、5周年を節目に、これまでの諸先輩のご指導に感謝しつつ、21世紀に向けて一層の活動に決意を新たにしているところでございます。

なお当クラブの広報委員会では5年間の歩みを記録と写真でまとめた「ようこそめいえきへ」という小冊子を作成、当日の参加者全員に配布して大変ご好評でした。



5周年記念合同例会

第2760地区ニュース・その他

田原ロータリークラブ 創立15周年記念例会

田原RC会長 林 成 樹

4月19日(金)田原町の華山会館に於いて午後6時より『田原ロータリークラブ創立35周年記念例会』(通算1739回)を開催致しました。

例会には石川和昌ガバナー、森 泰樹バスターガバナー(創立時の特別代表)、平野東三河分区代理、渥美及び田原パシフィック両クラブの会長幹事、そして田原町長、赤羽根町長、田原町立田原福祉専門学校の方々を来賓にお迎えし、会員、会員夫人とともに式典を行いました。席上林会長は「数多くの先輩諸氏のお陰で今日を迎えられた。原点のフレンドシップをもう一度かみしめ、伝統と創造の精神で更に発展させたい」とあいさつ。石川ガバナーからは「親睦を基にし、より一層地域社会と結びついた活動をして頂きたい」と祝辞を頂きました。

なお、記念事業として、本年度創立された田原福祉専門学校に朽名肇画伯作「天池を駆ける(150号)」(中国タクラマカン砂漠奥地のスケッチ)及び図書1378冊を、また赤羽根町交通少年団に団服を、それぞれ寄贈しました。



昭和36年3月に22名のチャーターメンバーで創立されましたが現在は73名となりました。

そして、35年間の節目節目には記念例会、記

念事業をさせて頂きました。

①昭和44年4月 渥美ロータリークラブ

②昭和51年3月 田原ローターアクトクラブ

③平成2年7月 田原パシフィックRC

の3クラブのスポンサークラブになるなど、地域社会に貢献したと自負しております。

新ポールハリス・フェロー 3月分

氏 名	所属R.C.
中 島 恒 雄	(名古屋名駅)
中 村 紀 之	()
橋 部 勝 俊	(名古屋西南)
服 部 鈺 治	()
水 野 裕 善	()
田 茂 井 克 典	(名古屋西)
吉 野 竹 夫	()
水 梨 豊 三	(豊橋南)

お詫び

ガバナー月信No.10号P2の中でR.I.インターネットアクセス番号に誤りがありました。

誤 <http://www.rotary.org>

正 <http://www.rotary.org>

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

3月18日 内藤 一三(名古屋中RC)

4月14日 真智 哲夫(田原RC)

4月16日 尾藤 昇(名古屋西南RC)

4月24日 間瀬 誠一(渥美RC)

4月25日 毛受 佳介(半田南RC)

4月28日 丹羽 善一(名古屋和合RC)

4月30日 大石 信男(名古屋西RC)

特別寄付報告書（1996年3月分）

財団法人 ロータリー米山記念奨学会
理 事 長 末 永 直 行

2760 地区

ク ラ ブ 名	クラブ収入金額	個人収入金額	法人収入金額	合 計	件 数
あ ま	0	60,000	0	60,000	2 件
刈 谷	900,000	0	0	900,000	1 件
名古屋千種	0	30,000	0	30,000	1 件
名古屋名北	500,000	0	0	500,000	1 件
名 古 屋 港	0	300,000	0	300,000	1 件
名古屋和合	0	300,000	0	300,000	10 件
岡 崎	0	100,000	0	100,000	9 件
岡 崎 東	8,066	0	0	8,066	1 件
岡 崎 城 南	0	10,000	0	10,000	1 件
岡 崎 南	0	20,000	0	20,000	2 件
瀬 戸	900,000	0	0	900,000	1 件
高 浜	900,000	0	0	900,000	1 件
豊 橋 北	0	20,000	0	20,000	1 件
豊 橋 南	0	120,000	0	120,000	1 件
豊川宝飯	0	30,000	0	30,000	1 件
豊 田	0	600,000	0	600,000	20 件
地 区 合 計	3,208,066	1,590,000	0	4,798,066	

分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数			分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数		
				'95年 7月1日	当 月	増 減					'95年 7月1日	当 月	増 減
尾 張 第 一 分 区	知 多	99.45	4	49	47	- 2	西 尾 張 分 区	あ ま	100.00	4	103	105	2
	半 田	100.00	4	73	73			尾 西	98.75	4	60	64	4
	半 田 南	97.72	4	68	70	2		一 宮	99.72	4	91	93	2
	東 知 多	99.28	5	58	61	3		一 宮 北	96.78	5	83	88	5
	常 滑	97.15	5	69	71	2		稲 沢	95.31	3	64	64	
	東 海	97.88	3	64	63	- 1		西 春 日 井	97.96	4	65	65	
	計	98.58	—	381	385	4		尾 張 中 央	100.00	3	50	49	- 1
名 古 屋 第 一 分 区	名 古 屋	97.29	4	225	239	1 4	東 三 河 分 区	津 島	100.00	4	86	90	4
	名 古 屋 南	98.21	3	121	125	4		一 宮 中 央	95.21	1	68	70	2
	名 古 屋 港	100.00	5	128	132	4		計	98.19	—	670	688	1 8
	名古屋瑞穂	100.00	4	100	105	5		渥 美	96.10	3	63	66	3
	名 古 屋 中	100.00	4	157	165	8		蒲 郡	96.94	5	79	80	1
	名 古 屋 西	96.07	4	148	150	2		奥 三 河	93.75	5	39	41	2
	名古屋大須	99.21	4	95	96	1		新 城	97.09	5	63	70	7
	名古屋名南	100.00	4	81	84	3		田 原	97.91	4	72	74	2
	名古屋名駅	98.67	3	97	101	4		豊 橋	99.35	4	130	131	1
	名古屋東南	99.04	4	81	86	5		豊橋ゴールドン	99.30	5	83	85	2
	名 古 屋 栄	98.13	4	76	82	6		豊 橋 北	99.77	4	114	119	5
	名古屋西南	98.07	4	46	52	6		豊 橋 南	99.56	4	87	65	-22
名 古 屋 第 二 分 区	計	98.72	—	1,355	1,417	6 2	西 三 河 第 一 分 区	豊 川	99.00	3	76	80	4
	名古屋千種	98.90	4	67	68	1		豊 川 宝 飯	95.60	4	68	69	1
	名 古 屋 東	98.28	4	115	118	3		田原パシフィック	96.36	5	66	77	1 1
	名 古 屋 北	99.61	5	114	114			豊 橋 東	100.00	3		32	3 2
	名古屋名北	100.00	3	75	76	1		計	97.75	—	940	989	4 9
	名古屋名東	98.75	4	67	81	1 4		岡 崎	100.00	3	111	118	7
	名古屋守山	96.76	4	89	92	3		岡 崎 東	98.93	4	81	84	3
	名古屋昭和	100.00	4	67	71	4		岡 崎 城 南	99.67	4	78	81	3
	名古屋和合	100.00	4	112	116	4		岡 崎 南	100.00	5	111	114	3
東 尾 張 分 区	計	99.04	—	706	736	3 0	西 三 河 第 二 分 区	豊 田	96.88	4	97	102	5
	犬 山	100.00	4	78	82	4		豊 田 東	99.19	3	92	93	1
	岩 倉	90.39	4	44	45	1		豊 田 西	100.00	3	102	107	5
	春 日 井	100.00	5	84	83	- 1		豊 田 三 好	100.00	4	29	33	4
	小 牧	96.60	4	70	69	- 1		計	99.33	—	701	732	3 1
	江 南	98.86	4	72	72			安 城	96.22	5	95	95	
	名古屋空港	98.48	4	70	67	- 3		碧 南	99.20	3	81	86	5
	尾 張 旭	99.71	5	68	70	2		一 色	100.00	4	53	56	3
	瀬 戸	100.00	3	80	82	2		刈 谷	100.00	4	88	92	4
	瀬 戸 北	99.21	4	68	70	2		知 立	100.00	3	55	56	1
	豊山一城北	100.00	4	59	61	2		西 尾	96.52	4	79	79	
	計	98.33	—	693	701	8		西尾KIRARA	100.00	5	62	65	3
								高 浜	99.51	4	53	53	
								計	98.93	—	566	582	1 6
地区内クラブ数				74 R C	'95. 7. 1 会員数		6,012名		増 加 会 員 数		249名		
					当月末会員数		6,230名		減 少 会 員 数		-31名		
					当月平均出席率		98.61%		差引純増会員数		218名		